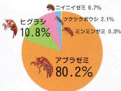


中央公園の雑木林には

ヒゲラシのぬけがらがたくさんあったよ!

どんぐりの会では、今年（2012年）、7月29日（日）と8月25日（土）に、小平中央公園の雑木林で、セミのぬけがら調査をしました。林を4つのエリアに分けてぬけがらを集め、オス、メス、種類ごとの数を調べる調査です。8月25日には、夜の林でセミの羽化も観察しました。



■ アブラゼミ (80.2%) ■ ツツクボウシ (3.1%)
■ ヒゲラシ (10.8%) ■ ミンミンゼミ (9.7%)
■ ニイニイゼミ (8.7%)

図1 小平中央公園雑木林で集めたセミのぬけがら種類別割合（2012年度）

雑木林では、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、ツツクボウシ、ヒゲラシの5種類のぬけがらが見つかりました。

左のグラフのように、一番多いのはアブラゼミですが、細心では見られなくなったヒゲラシのぬけがらが合計3割、全体の10.8%を占めていて、とても多いのが特徴です。

観察指導員の高野丈さんによると、このことは、ヒゲラシが深遠沿いに多いこと、林がかつての武蔵野の自然環境をかるうじて残していることに関係があるようです。

都市化が進む中、このような環境は貴重なものです。同じ林でも、4つのエリアの条件によって、ぬけがらの種類や割合が異なり、林の多様性が、生きものの豊かさにつながることを実感しました。



メスとおすはもう見分けられるの。

これはメスだから、こっちー



セミってそうなの?

- 1 セミの幼虫は何を食べる?
①小さな虫 ②樹液 ③木の根っこ
- 2 セミは羽化してからどのくらい生きる?
①7日間 ②数週間 ③数ヶ月間
- 3 セミはどうやって聞くのかな?
①羽をこすりあわせる
②のどもふるわせる
③のなかをふるわせる

玉川上水と雑木林には夏鳥や冬鳥が来ているよ

夏鳥 ゴールデンウィーク前後に、東南アジアから飛んできます。

冬鳥 秋になると、北の国から渡ってきて、日本で越冬します。



小平中央公園と玉川上水のまわりで、夏鳥と冬鳥の調査をしました。とくに雑木林では、いろんな鳥がひとやすみしていることがわかりました。東西にのびる玉川上水のまわりに、緑のかたまりが連なっていることで、移動する鳥たちが立ち寄って休息する中継地となっているようです。

